

<p>【キャッチフレーズ】</p>  <p>笑顔・花・命</p>	<p>奄美市立大川小・中学校</p> <p>学校だより大川</p>	<p>【校訓】</p>  <p>勉学・協力・根性</p> <p>令和2年1月21日発行</p>
---	-----------------------------------	--

## 2020年 奄美らしさを考える

校長 前田浩之

新年あけましておめでとうございます。年末から流行のインフルエンザの猛威に、子どもたちも保護者の方たちも、かなり苦しめられたと聞いております。お見舞い申し上げます。さて、今年はオリンピックイヤー、また奄美群島世界自然遺産登録のやり直しの年です。共通して言えるのは、日本や奄美大島に世界中からたくさんの方が来るということです。外国人と積極的にコミュニケーションをとれるように、英語の勉強を頑張りましょうね。と始業式に話をしました。また、国体の相撲競技も住用町で開催されますので、奄美を日本全国に、そして世界にアピールする絶好の機会となります。そこで奄美らしさとは何か？年頭に考えを巡らせました。

1月2日に古仁屋で青少年健全育成と銘打ったソフトボール大会があり、夜の懇親会の席で同じ年の役場職員が嘆いていたことがあります。彼の出身の加計呂麻島は、人口の流出が激しく、また地元の間は高齢化しどんどん少なくなっています。学校の保護者はIターンの人の方が多くなってしまいました。「学校で教えているのは三味線じゃなくてウクレレ、八月踊りじゃなくてフラダンスじゃが、ワンのシマはハワイなのかい？」極端な例ですが、交流人口が多くなれば、その土地の「らしさ」が薄れていくのは当然のこと。「ウーン。」と考えさせられました。ウクレレやフラダンスは加計呂麻島の魅力になるのでしょうか？

また、奄美らしさを取り戻そうとする動きもあります。かつての伝統産業「大島紬」を盛り上げようと大島紬着用を呼びかける成人式、紬の日のパレード、大島紬アンバサダープロジェクトの始動などの一連の動き。また、シマグチを見直そうとする「危機的な状況にある言語・方言サミット 奄美大会」（2月22日～23日）の開催など、行政もシマの伝統を守るだけでなく、シマの伝統を活用し、自立・自興に繋げようと意識していることがわかります。魅力ある奄美をアピールするには、伝統・文化を大切にしなければならないことは明白だからだと思います。

便利な世の中となりました。流通網の進歩で、日本中の、いや世界中の食べ物が家で食べることができます。だから、昔が良かったなどと言うつもりもありません。しかし、ガシツ（ウニ）がいなくなり、大衆魚だったはずのエラブチ（ブダイ）も高級魚のような値段が付いています。基幹産業も紬から土建業、そして自然を売りにした観光関連産業へと変化しています。変化の中で、大切なものが失われていかに意識していかないといけません。奄美のアイデンティティ、奄美らしさを失っていくことは、魅力を捨てていくことです。

1月11日に行われたシマグチ・シマ唄学習の発表会。最後の記念撮影で講師の膝にちょこんと座る低学年の人懐こさに、これも「奄美らしさ」かなと思うところでした。

2020年、忙しい年になりそうです。皆様方の健康とご発展をお祈りいたします。

## 12月後半～子どもたちの様子

### シマグチ・シマ唄学習発表会

シマの教訓 (ユスイグトウ) 発表 (小3. 4)



シマグチ朗読劇 (中3)



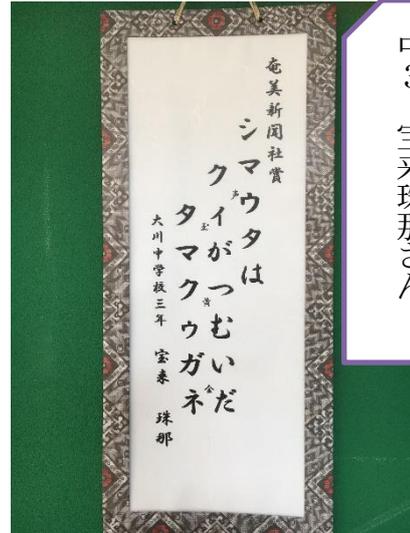
講師の方たちと記念撮影

### 小学校たこあげ大会

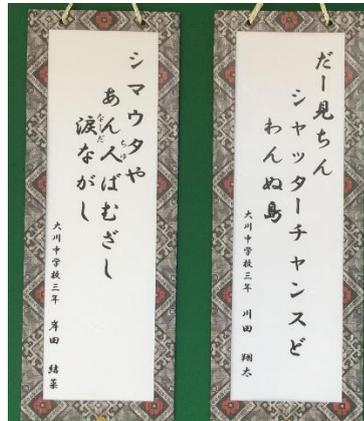


## 奄美ワールド川柳表彰

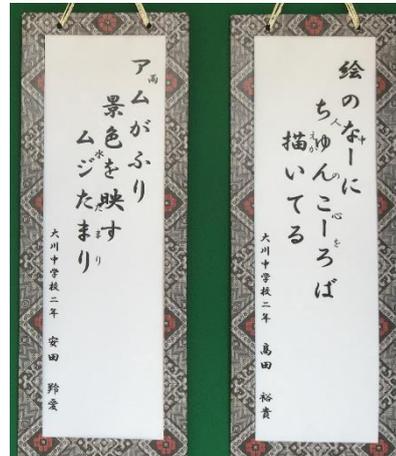
入賞者多数！学校賞もいただきました。



奄美新聞社賞  
中3 宝来珠那さん



入選  
中3 川田翔太さん  
中3 岸田結菜さん



入選  
中2 高田裕貴さん  
中2 安田鈴愛さん

### 1月後半～2月 主な行事予定

1/20(月)	学校給食週間 (～24日)
1/22(水)	健康教室 (スマホ, SNS について)
2/4(火)	PTA 役員会
2/7(金)	中3授業参観・学級PTA
2/8(土)	土曜授業 (唄島スクールアラウンド)
2/9(日)	小学校お別れソフトボール大会
2/12(水)	中学校学年末テスト (～14日)
2/13(木)	新小1入学説明会 交流会 講演会
2/14(金)	新中1入学説明会
2/18(火)	大川中校区青少年健全育成連絡協議会